

金室地区の貴重な生物

タコノアシ *Penthorum chinense* ユキノシタ科

分布 本州から奄美大島、東アジアにかけて広く分布する湿地性の多年草である。

生育場所 泥湿地、沼、水田、河川敷のヨシ原の周囲などに生育し、休耕田にも多い。湿地等の水位の変動する場所に多く生育する。

繁殖 繁殖は種子と地下茎で行なわれる。花期は8～10月。9～10月頃果実を作る。栄養繁殖では、地中の地下茎から走出枝を出して広がる。

配慮 河川敷で沼のようになっている湿地に生育しているため、水辺の築物の整備の際には必ず事前調査をし、生息域には手をつけない必要がある。



ヤマセミ *Ceryle lugubris* カワセミ科

分布 日本では北海道から九州まで、各地に留鳥として分布し、繁殖する。



生息場所 山地の水量の多い溪流、崖地の多い中流域や湖に、留鳥として生息する。



営巣場所 主に土質の崖に横穴を掘って営巣する。高さ3 m以上、傾斜70度以上の急傾斜にの崖に営巣することが多い。雌雄で協力して約1～1.6mの奥行きをもつトンネル状の巣穴を掘る。

繁殖 産卵期は3～6月頃。春先につがいが成立すると、巣作りの後交尾・産卵が行なわれる。抱卵日数は20日で育雛日数は32～36日。

配慮 餌は魚類中心で、カエルやサワガニなどもとるので、水辺環境全体に配慮が必要である。切り立った崖部も営巣のために保全する必要もある。